

3 R 瓦版 (11 月号)



© 2013 フジコ イトウ All Rights Reserved.

ここ数年ニュースや新聞などで『地球温暖化による気温の上昇』という言葉耳にしませんか？

『平均気温が 1℃上がった。だから何?!』こう考えられる方も多いかもしれません。しかし平均気温が 1℃上がるということは、かつてあった場所より 100km 南下したとも言われています。

私が居住する京都を例にしますと、今から 100 年前の年間平均気温は 13.2℃、昨年の平均気温は 15.8℃、ここ 100 年の間で年間平均気温が 2.6℃上昇したことになります。1℃あたり 100km ですから、260km 南下したことになり、現在の京都は 100 年前の四国最南端の足摺岬と考えることもできるのです。

	100 年前の 年間平均気温	2012 年の 年間平均気温	100 年間の 上昇温度
大阪市	14.6℃	16.6℃	2.0℃
神戸市	14.5℃	16.6℃	2.1℃
東京	13.4℃	16.3℃	2.9℃

日本各地ではここ 100 年の間で年間平均気温が 2℃以上上昇している所がほとんどです。でも『たった 2℃』と思われるかもしれませんね。

では・・・私の専門分野の『虫』でお話をさせていただきます。

家の中で黒くてカサカサ動きまわり、たまに飛ぶ生体（ゴキブリですね）は、20℃の条件下では卵から幼虫になるのに、約 120 日もかかります。これが 27℃の条件に変更するとわずか 40 日程度に短縮されます。つまり、たった数度の違いでも成長スピードが大きく変わります。それに伴い、繁殖力も大きく上昇します。また、生息限界域も温暖化に伴い北上しています。（昔は北海道では生息できないと言われていましたが、現在は普通に生息しています）

このまま『地球温暖化による気温の上昇』が続けば、日本各地で季節に関係なく見る害虫になり、現在は南西諸島等温暖な地域でしか生息していない大型ゴキブリも近い将来は本州で見ることになるかもしれません・・・。

『地球温暖化』は私たちの身近な所にも影響があります。ましてや、ご家庭内で害虫駆除をさせられるあなたにも・・・。



環境衛生管理 グラックス

代表 西垣 晃作

<http://gaichukujo.jp/>

RepairFactory (有)本杉工機

京都府久世郡久御山町田井新荒見 220 番地

tel : 0774-46-4654